

エリアウェーブ

峡東教育事務所
 地域教育支援スタッフ
 TEL 0553-20-2731
 FAX 0553-20-2733

◎回覧・配付をお願いします。増し刷り配付はご自由どうぞ。山梨県庁のホームページでも掲載中です。

<http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/kyoiku-hym/index.html>

◎ご意見・ご感想、情報提供はこちらまで。Email : hirayama-atxj@pref.yamanashi.lg.jp

「こだましあう心」

「こだまでしょうか」という金子みすゞさんの詩が東日本大震災後の某CMに起用されました。

震災による被害の大きさと同時に、この詩が繰り返し流れ、私たちの心に響きました。

こだまの原点は挨拶です。「おはよう」と言ったときに必ず「おはよう」と返ってきます。

「おはよう」と言ったときに「バカ」とか「うるさい」とか返ってこないですよね。挨拶というのは「あなた見つけ」なんです。「あ、今日もあなたのこと見つけたよ」と言われる嬉しさがあるから「あ、見つけてくれてありがとう」と返ってくるんです。

挨拶は「あなたがいるんだね、嬉しいな」という嬉しさ飛ばしなんです。だから、挨拶ができる人にならないと、嬉しい言葉を聞きのがす人になってしまいます。

かつて私たちのまわりにおいてくれた、すてきな大人たちは、こだましてくれる人たちでした。

子どもが転んで「痛い」と言ったときに、「痛いね」とこだましたから痛さは半分になったのです。おじいちゃん、おばあちゃんももっと上手に「ああ、痛いね、痛いね、かわいそうだね」と何度も何度も、時には痛さが消えるまで言ってくれて、その後初めて自分の伝えたいことを言いました。「もう泣かないよ」と。

しかし、ある時から、私たち多くの大人は自分優先になり、こだますることをしないで、一方的に否定し、一方的に励ますようになりました。

転んで「痛い」と言ったとき、その子の痛さを早く消すために「痛くない」「我慢できる」と言うのが励ましたと勘違いしてしまったのです。痛さを否定し、励ますだけで、一度もこだましてあげることがしなければ、痛さは消えることなく、全部生のまま、つらさを丸ごと自分の中に閉じこめるしかない。どんなに切ないことでしょうか。 矢崎節夫「玉川大学図書館主催講演会より」

こだまでしょうか
 金子みすゞ
 「遊ぼう」っていうと
 「遊ぼう」っていうと
 「馬鹿」っていうと
 「馬鹿」っていうと
 「もう遊ばない」っていうと
 「遊ばない」っていうと
 そうして、あとで
 さびしくなると、
 「ごめんね」っていうと
 「ごめんね」っていうと
 こだまでしょうか、
 いいえ、誰でも。
 「金子みすゞ童謡全集」
 JCL出版局より

みすゞさんの作品は、「私とあなた」ではなく「あなたと私」という視点で物事をとらえて表現されています。

あなたがいるからこだまが返ってくる。親子の立場も同じかも知れません。私たちは、子どもが生まれて初めて親になります。「子育て」と言いますが、実は親も子どもと一緒に育っているのです。「共育ち」とも言えるのでしょうか。

私視線も大切ですが、子ども視線まで腰を低くして子どもの声を聞き、こだまとなり、響きあえる存在でありたいものです。

「親プロ」活用してみませんか？

子育てや親子関係について、親が楽しみながら主体的に学ぶことのできる教材として、「やまなし『親』学習プログラム」わいわい子育て親育ちがあります。参加型学習のため、新たな保護者懇談会のあり方や関係づくりへのヒントになると思います。各学校の学級懇談会等で積極的に活用してください。

問い合わせ 山梨県教育庁社会教育課

成人・家庭教育担当 山下まで

電話 055-223-1172

FAX 055-223-1775



保育園訪問 笛吹市 わかば保育園

今年4月に、石和町小石和に移転新築したわかば保育園に行ってきました。「裸足で遊べる空間を」と子どもたちと苗から育てた芝生が広がる園庭、木の香りがまだ残る教室は自然と環境を意識したものでした。

おやつを食べた後の園児は、元気いっぱいに歌を歌ったり、木製のおままごとセットに夢中になったりする様子はとてもかわいかったです。

今までは未満児を対象に保育をしてきたわかば保育園ですが、この移転を機会に、0～5歳児を保育することになりました。また、笛吹市ではじめての保育園に併設した子育て支援センターもあり、未就学の親子の利用もできるそうです。



大きな声で歌いましょう



緑がまぶしい園庭

熱戦！！ 中学校新人体育大会IN笛吹・東山梨

中学校の郡新人体育大会が10月5・8日に笛吹市・東山梨の各会場で実施されました。3年生が部活動を引退し、1・2年生の新チームでの戦いです。

取材した日は、途中から降り出した雨とも格闘しながらプレーする選手たちの姿がありました。熱戦を勝ち抜いたチームは11月の県新人体育大会に出場します。

新チームとなり3ヶ月ですが、今回の大会をステップに、冬季シーズンの練習に励み、体力・技・精神を鍛えて欲しいと思います。春・夏の好プレーを期待しています。



雨の中の熱戦（笛吹）



バスケットボール会場（東山梨）

読書の秋 読み聞かせ教室（甲州市立菱山小学校）



児童生徒が登校後朝読書をしている学校が増えています。甲州市の菱山小学校では、この時間を使い絵本の読み聞かせ教室を実施しました。

この日は、甲州市塩山図書館分館 甘草屋敷子ども図書館絵本くらすの6名が、テーマにあった絵本（季節や行事・教科書や総合的な学習の時間の内容・時事問題など）を持って1年生から6年生の教室で読み聞かせをしてくれました。

2年生のテーマは「おいも」。さつまいもに関連する絵本を何冊も用意して読み聞かせタイムの始まりです。絵本くらすの方の抑揚のある声と場面の絵に子どもたちも引きこまれていました。

『さつまのおいも』の「おいもと人間がひっぱりっこしたところがおもしろかった。」「また図書館へ行って借りたい。」と目を輝かせて感想を話してくれました。

菱山小学校では、年間4回の絵本くらすによる読み聞かせの他に、先生方がお勧めの本を持って読み聞かせをする機会があるそうです。

絵本くらすの方は「読書傾向には偏りがあり、学年によってもジャンルは様々。本は、そこに並んでいるだけでは子どもたちの心に届かない本にも目がいく。毎回テーマを決め、それにあった絵本を準備している。」と話してくれました。

ノンフィクション作家の柳田邦男氏は「絵本は3度読むべき」と提唱しています。幼い時、親になった時、人生の後半に差ししかかった時。深く味わいのある絵本は、何度読んでも色あせることなく、親から子へ、子から孫へ読み継がれていくと、すばらしい家族の文化も生まれます。そんな絵本との出会いを期待させる読み聞かせ教室でした。



「どんなお話なんだろう？」

子育て支援リーダー養成講座地域交流会

山梨県の教育庁社会教育課が山梨県立大学と連携する「子育て支援リーダー養成講座」の峡東地域の受講生が地域交流会を開きました。

受講生らは、様々な角度から子育て支援をする方法を考え、地域の未就学の親子を対象にした交流会を企画・運営するグループ、子育ての支援をする立場からの悩みや課題、喜びなどを語る会を実施するグループ、食育をテーマに年齢にあったお弁当の量「3：2：1弁当箱法」をもとに、ご飯の量・おかずのバランスを意識して調理するグループの3つに分かれて実施しました。

日頃から保育園・ファミリーサポートセンター・児童館・子育て支援センター等で仕事をしているため、自分たちのスキルアップにつながる交流会ができ、これを生かした今後の活躍が期待されます。



それぞれの立場から報告会



親子であそんじゃおう



お弁当のおかず調理中！



入り口掲示も手作り



親子でスキンシップ



「3:1:2 弁当箱法」

■第6回「甲州市こどもフェスタ」

日時 11月10日(木) 午前10時～午後2時
 主催 甲州こどもフェスタ実行委員会
 場所 甲州市塩山ふれあい館
 問い合わせ 甲州市役所 子育て対策課 0553-32-5081

■「人権のための講演会」

講師 岡 尚志 氏 (山梨県ボランティア協会 副会長)
 日時 11月17日(木) 午後2時30分～午後4時20分
 場所 笛吹市いちのみや桃の里ふれあい文化館 多目的ホール
 演題 「人として ともに生きる社会づくり」～東日本大震災に学ぶ～
 問い合わせ 峡東教育事務所 地域教育支援スタッフ 0553-20-2731

■「CAPおとなワークショップ」

日時 11月19日(土) 午前10時～12時
 場所 甲州市勝沼市民会館 2F大会議室
 問い合わせ NPO法人 すてっぷ・あっぷる 0553-39-8685

集まれ ちびっこ！広かれ 子育ての輪！！

親子遊あそびなどのイベント、子育て支援のいろいろな情報掲示、飲食の屋台など、盛りだくさんの内容です。

♪各ブースの紹介♪

おもちゃ交換会、歯科検診・フッ素塗布、前髪カット、ベビーマッサージ、おはなし会、子育てミニ講座、アトピー座談会、防災・安全コーナー、子育て相談コーナーなど

親子でぜひ参加して下さい。



コミュニティ・地域連帯・人間関係等の大切さについて、東日本大震災の支援の状況と合わせてお話をいただきます。

あなたの子どもがいじめにあったら？
 不審者などからの暴力、
 あなたは子どもたちを守れるでしょうか？
 今、おとなに出来ることは・・・



◆ 訂正 ◆

第82号に掲載した、学びの広場「ふえふき」の記事で訂正があります。

P3の3行目 石和東小学校 → 石和西小学校

たいへん申し訳ありませんでした。HPは訂正し、掲載しました。

笛吹高校



待望のグラウンド完成！！



笛吹高校のグラウンドが完成となりました。本校のグラウンドは、野球場とサッカーのコートを同時に確保できる広大な面積です。

10月から、本格的に使用しています。ますます部活動に励むことができそうです！

関東・全国大会出場！



植物研究部 全国高等学校総合文化祭 最優秀賞！

自転車部 全国高等学校総合体育大会 第8位
(チームパーシュート)

ライフル射撃部 全国高等学校ライフル射撃競技
選手権大会 個人第4位

